

関係各位

病虫害防除所長

平成 28 年度病虫害発生予察技術情報第 3 号について

早期稲における斑点米カメムシ類（第 2 回）の発生調査結果

早期稲（穂揃期～黄熟期）の斑点米カメムシ類の発生状況について、下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

記

7 月上旬～下旬に実施したすくい取り調査の結果、県東部と中央部が多発生、西部は平年並の発生、中西部は少発生でした。種別に見ると、県内全域でアカスジカスミカメの発生が平年に比べて多くなりました（表 1）。全般的にはほぼ平年並の発生でしたが、発生密度の高いほ場も見られました（表 2）。

表1 早期稲における斑点米カメムシ類の捕獲頭数（平成28年度）

地域 (ほ場数)		ミナミアオ カメムシ	ホソハリ カメムシ	クモハリ カメムシ	トゲシラホシ カメムシ	アカスジ カスミカメ	その他	合計
東部 (12)	本年	1.8	0.5	2.7	0.0	8.0	0.2	13.2
	平年	0.6	0.7	1.2	0.3	3.5	0.5	6.8
中央部 (46)	本年	1.5	2.2	3.0	0.6	1.8	0.1	9.2
	平年	1.7	0.7	1.9	0.1	0.5	0.4	5.4
中西部 (16)	本年	1.4	1.1	1.9	0.3	1.6	1.0	7.3
	平年	3.7	1.4	4.6	1.1	0.5	1.1	12.4
西部 (16)	本年	1.1	1.5	2.4	0.4	2.4	0.3	8.1
	平年	1.0	1.3	2.3	0.2	1.6	1.6	8.0
県下全域 (92)	本年	1.5	1.5	2.4	0.4	2.4	0.3	8.5
	平年	1.8	1.0	2.4	0.4	1.1	0.7	7.4

※数字は 1 ほ場あたりの成幼虫数（捕虫網50回振り）

